



なつ ルーパートのいた夏

とみながほし 富永星 訳
とくましょてん 徳間書店

クラリーは生まれた三日後に母を亡くした。わが子に無
關心な父と、自分の世界に閉じこもる兄との生活に、温
かさはなかった。でも、夏にすすすコーンウォールの祖父
母の家は、すべてが完璧で世界一の場所だった。だれより
も勇敢で、優しい、いとこのルーパートがいたから。
やがて戦争がはじまり、ルーパー
トが入隊すると、クラリーの平和
な日常は終わりをむかえた。
十九世紀末のイギリスに生まれ
た子どもたちが、戦争を経て、独り
立ちするまでの成長を描く。

